

鶴岡市第四ブロック小中一貫教育目標 「一人で歩める 共に歩める」 ～ 自立・共生・郷土愛 ～

～「自ら学び、関わりを通して成長する子どもの育成」を地域と共に目指す9年間の義務教育活動～

求められる教育の姿

法令、条例、7教振、鶴岡市教育方針等
 これからの時代を生き抜く力の育成
 令和型日本教育の推進
 (個別最適化された学び・協働的な学び)
 SDGsと共生・協働の資質能力の育成
 地域とともにある学校づくり

学校教育目標

「一人で歩める 共に歩める」
 ～ 自立・共生・郷土愛 ～

目指す子どもの姿

- 自ら考え、取り組み、やり抜く子ども(自立)
- 自他を思いやり
 関わりを通して成長する子ども(共生)
- 地域と関わり、地域を大切に子ども(郷土愛)

自己肯定感:「自立・共生・郷土愛」を支えるもの(全ての教育活動を通し、子どもの自己肯定感を高める)

めざす学校像

良好な人間関係の中で
 自己肯定感を高め
 生き活きと
 力を発揮できる学校
 (～ 家庭・地域と共に ～)

学校経営の重点

- 1 「自ら考え、取り組み、やり抜く力」の育成(自立)
 (めあての設定と振り返り「励まし・賞賛・価値づけ」を通じた意欲づくり)
- 2 「自他を思いやり、関わりを通して成長する力」の育成(共生)
 (生徒指導四つの視点を活かした「つながる力」と良好な人間関係づくり)
 ※「つながる力」…思いやりの心をもって温かく聴き、優しく伝え、考えを深めながらよりよく関わる力

めざす教師像「教育は人なり」

- 子どもの自己肯定感を育める教師
- 温かく前向きな「集団の質」を高める教師
- 担任力を高めるために自ら学び続ける教師
- ※上記の結果として、信頼される教師となる

	「生徒指導で育む力」	「学習指導で育む力」	「健康指導で育む力」
自立 共生 郷土愛	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のことを自分でしたり、責任をもったりすること【自】 ○善悪の判断、必要な支援を求める力【自】 ○他者意識(あいさつや返事など)の醸成【共】 ○周りの人と協力したり、ともに課題解決したりする力【共】 	<ul style="list-style-type: none"> ○目的意識をもち、自己調整する力【自】 ○他者との関わりや対話をとおして課題解決する力【共】 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭をまきこんだ生活リズムの調整・確立【自】 ○粘り強さや自己調整力の育成【自】 ○異学年交流を活発にし、自ら行動できる児童生徒の育成【共】

個々の人格を大切にし困り感に寄り添った、組織的で切れ目ない特別支援教育の充実

地域と共にある学校
 をめざして

- ・学校運営協議会(第四ブロック・四小っ子の育ちを語る会)の充実
- ・地域学校協働本部の立ち上げ
- ・学校プランとしての地域・体験学習
- ・ゆとりあるPTA活動の創造
- ・心の通い合う保護者との連携